

令和元年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【 京都府 】

学校名【 京都府立与謝の海支援学校 】

1 実践テーマ	【 I ・ II ・ III 】
2 実施対象者	<ul style="list-style-type: none"> ・ 京都府立加悦谷高等学校 ・ 伊根町立本庄小学校
3 展開の形式	<p>(1) 学校における活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 教科名（部活動） ② 行事名（京都府立加悦谷高等学校との合同陸上練習） ③ その他 ○ <p>(2) 地域における活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ① イベント名 ○ ② その他 （伊根町立本庄小学校児童・教員へのボッチャ実技講習）
4 目 標 （ねらい）	<p>(1) オリンピック、パラリンピックを契機とし、陸上競技において双方の生徒が交流し、本校の生徒の競技力向上のモチベーションを高める。</p> <p>(2) 障害者理解を深め、他者への共感や思いやりの心を育てる。</p> <p>(3) 障害者スポーツ（ボッチャ）の普及を図る。</p>
5 取組内容	<p>(1) 時期・期間を設定して京都府立加悦谷高等学校陸上競技部と陸上競技の合同練習を実施する。（今年度 5 回実施）</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 陸上部の練習に参加することで、陸上競技に必要な基本的な身体の動かし方を習得する。 ② 専門的なトレーニング方法を学ぶ。 <p>(2) 障害者スポーツの普及</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 障害者スポーツの普及を目指し、ボッチャの講習を地域の小学校の児童・教員に実施する。
6 主な成果	<p>【京都府立加悦谷高等学校との合同陸上練習】</p> <p>練習会では、京都府立加悦谷高等学校陸上競技部員が主体となり、本校生徒に「教える」ことをとおして相手を知ろうと、接し方などの工夫をする姿が見られ、本校生徒の実態や障害への理解も進んだと考えられる。本校生徒も、同年代の友だちからのアドバイスを受け入れ、積極的に質問もする様子が見られた。また、身体の使い方にぎこちなさがあった生徒も、同年代の友だちとの関わりの中でリラックスして練習に取り組み、関節の可動域が広がったり、基本的な身体の動かし方が向上したりしたことは成果であった。</p> <p>また、普段とは違った環境や用具、練習内容を体験することで、練習に取り組む姿や意識が向上し、参加した生徒が、参加できなかった生徒に学んだことを伝える姿も見られ、生徒同士の学び合いにつなが</p>

	<p>った。</p> <p>【伊根町立本庄小学校児童・教員へのボッチャ実技講習】 初めて障害者スポーツに触れる児童や教員がほとんどだったが、簡略化したルールで実施することで楽しみながら行うことができた。正式なルールも講習の中で学んだことで、関心が深まった。児童からは「楽しかった。」「またしたい。」「ボッチャを初めて知った。」などの意欲的な感想を聞くことができた。 講習後にはボッチャセットを貸し出した。その後も継続して練習が行われ、親子行事等に利用された。</p>
7 実践において工夫した点 (事業の特色)	<p>【京都府立加悦谷高等学校との合同陸上練習】 練習中はなるべく教員が、指導や支援を行わないように留意した。生徒同士の教え合い、学び合いに重点を置いた。</p> <p>【伊根町立本庄小学校児童・教員へのボッチャ実技講習】 伊根町立本庄小学校からの依頼で障害者スポーツ理解の一環として、ボッチャの講習会を行った。本格的なボッチャのルールでの試合と八角マットを利用した簡易的なルールの試合を行った。</p>
8 主な課題等	<p>【京都府立加悦谷高等学校との合同陸上練習】 陸上大会を見据えた種目別練習に取り組むことで、より競技力の向上を図ることができた。また、少人数グループで練習することで交流が深まったが、これ以上の練習回数の確保には行事等の兼ね合いもあり検討が必要。</p> <p>【伊根町立本庄小学校児童・教員へのボッチャ実技講習】 障害者スポーツ（ボッチャ・卓球バレー）を広めるための取組を引き続き行っていく計画と、他校からの要望に応じられる体制作りが必要である。</p>
9 来年度以降の実施予定	<p>【京都府立加悦谷高等学校との合同陸上練習】 次年度以降連携校が学舎化するため、今年度同様の取組を行うことができるかどうかは未確定であるが、同等もしくは今年度以上の練習回数で実施することが望ましい。双方の生徒にとっては大変有意義な取組であるため、より連携を深め、年度当初に時期、回数、取組方法などの検討が必要である。</p> <p>【ボッチャ講習】 校内でボッチャの講習会を開き、授業でも活用できるよう周知する。また、各学部で行っている交流会等での積極的な活用を目指す。 現在のところ地域等への講習会実施予定はないが、要望があれば応じていく。</p>

【京都府立加悦谷高等学校との合同陸上練習】



【伊根町立本庄小学校児童・教員へのボッチャ実技講習】

